

第38回日本高齢者大会inさいたま東京実行委員会第4回会議

2025年10月28(火)13:30~16:30 東京労働会館



1 本日の主な内容

- ・ 日本高齢者大会を団体、地域の運動に生かそう
- ・ 第38回日本高齢者大会参加についての詳細
- ・ 団体・地域の運動交流

2 第38回日本高齢者大会 in さいたまの概要（再掲）

大会開催要項(p5~6)・大会リーフレット(別紙)

(1) 大会の意義と目的

戦後80年、国連高齢者年から25年の年にふさわしい、飛躍をつくる大会にしていきましょう。日本高齢者人権宣言を力に、大軍拡、大企業優遇でなく、社会保障を充実で、すべての年齢の人が安心し希望のもてる社会をつくる、共同を広げる大会にしましょう。(開催要項より)

(2) スローガン

大会スローガン:まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくす
サブスローガン:分断・対立から共感・連帯へ 築こう平和と人の尊厳

(3) 講座・分科会・移動分科会・夜の交流会・全体会 企画内容

大会リーフレットを資料に説明します。

(4) 大会日程・会場

- ・ 1日目 2025年11月11日(火)
(会場 大宮ソニックスティ小ホール・会議室・市民ホール会議室)
 - ① 特別企画 13:00~13:50 晖峻淑子さん講演
14:10~16:10 映画「ごはん」
 - ② 学習講座 前半 13:00~14:40 後半 15:00~16:30
 - ③ 分科会 13:30~16:30
 - ④ 移動分科会 13:00 集合 16:30 をめどに各会場で解散
 - ⑤ 夜の交流会 「うたごえ」 18:00~20:00
(さいたま市民会館おおみや5F レクリエーションルーム)
- ・ 2日目 2025年11月12日(水)
 - 全体会 10時30分~13時00分 (予定)
(会場 大宮ソニックスティ大ホール)
 - 1分間スピーチに東京から2つのスピーチ、プラカードを持って。
横田基地撤去を求める西多摩の会
首都圏青年ユニオン

3 高齢者大会を団体、地域の運動に生かそう

- (1) 団体、地域で、会議の中で高齢者大会の報告を行う、高齢者大会の報告集会を行うなど、持ち帰った内容を共有する場を設けましょう。

- (2) 高齢期要求全都共同行動にすべての地域が取り組みましょう。
- 地域高齢期運動連絡会、地域実行委員会、年金者組合各支部で、仲間の実態と要求にもとづき「日本高齢者人権宣言」を地域の高齢者の状況と結びつけ、暮らしの困りごとを「人権宣言」に照らして、人権の問題として捉え、要望をもって自治体の担当者と話し合う活動をお進めましょう。懇談の中で、「日本高齢者人権宣言」を自治体の担当者に渡し、高齢者の権利を保障する自治体の責務を果たすために、高齢者施策の評価基準として「宣言」を活かすよう働きかけましょう。
- (3) 高齢者大会参加に取り組む中で声を掛け合うことによって地域の諸団体の共同を深め、軍事優先社会保障破壊の流れに対抗する地域での運動を大きく発展させましょう。

4 現在までの参加報告の状況

- (1) 現地参加 11月11日 138人 11月12日 211人 延べ349人
Web会場 10箇所 参加目標人数 延べ122人
Web個人接続 のべ14人
- (2) チケット配布状況・参加予定報告状況 (p 14・15)

5 大会運営と参加のしかた

- (1) 参加費
- ① 参加費 1日 2,500円 2日間 5,000円
各都道府県、各中央団体から中央実行委員会への参加費の納入は、1日 2,000円 2日間 4,000円 *中央実行委員会に直接申し込む個人は、参加費と同額1日 2,500円・2日間 5,000円
- ② オンライン参加費 1日 1000円 2日 2000円 全額中央実委納入
- (2) 特別企画・講座・分科会など現地での参加
- ① 各会場は、席数の制限があります。希望する会場に入れない場合もありますので、ご了承、ご協力をお願いします。
- ② 夜の交流会、うたごえひろばは、50名定員先着順です。会場が離れているため、集合して移動する可能性があります。その場合は集合時刻、場所などは11日の現地ニュースにお知らせが出ます。
- (3) 東京からの参加
- ① 現地への参加は、チケット方式で行います。チケットは団体、地域で預かり参加者に販売。販売した分の代金を東京実行委員会に振り込む。残件返還の必要はありません。
- ② チケットは、第38回日本高齢者大会 in さいたまチケット扱いのお願いの返信がきた団体に送付しております。現在も追加送付の要請が続いている、その都度送っています。
- ③ 【重要】東京からの現地参加者（移動除く）には、参加証（ワッペン）と参加のしおりの事前郵送は行いません。1日目から参加する方は、ソニックシティビル4階本部受付、またはソニックシティ小ホール特別企画受付で、2日目から参加する場合は大ホール受付でチケットを渡して当日資料とともに参加証（ワッペン）と参加のしおりを受け取ってください。

- ・ 移動分科会参加者には、個別にしおりと参加証を郵送しています。
- ④ 参加費の納入は 現地参加の場合は、チケット送付時に、同封されたゆうちょの払込用紙、またはゆうちょダイレクトなどで送金してください。団体名を明記して、どこからの送金か分かるようにお願いします。Web 参加の場合は、会場は会場ごとに、個人は一人一人に払込用紙と説明をつけてしおりとともに郵送しています。

(4) 移動分科会は、

- ① 個別の申し込み用紙で、東京実行委員会へ申し込み、どの分科会も定員以内だったため、申し込んだ人は全員参加できます。現時点での追加申し込みもできます。特に農の分科会は、現在参加が 10 名なので、出来れば今からでも申し込んでください。移動分科会は現地集合、交通費や入館料で別途少し費用が掛かる場合があります。
- ② 川越の分科会の集合場所が、川越駅からまつり会館休憩所に変更（しおり 22 ページ）になっています。
- ③ 移動分科会参加者も、チケットの購入が必要です。

(5) Web配信は、

- ① 全体会・特別企画（暉峻淑子さん講演のみ）・第1第2講座・第10講座・第1分科会・第3分科会・第5分科会をWeb配信します。Web会場の設置と、11月1日で締め切り、しおりなどを発送します。申し込みは Email のみです。現在9か所の申し込みですが、まだ増える模様です。早めに申し込んでいただけると助かります。
- ② Web会場は、少人数でも、ぜひ集会的な運営を行い、感想を述べあう時間などをもちましょう。
- ③ Web会場でも、現地と同様にカンパを募ります。日本高齢者大会は、充実した内容の準備と、大きな会場の費用を賄うために、参加費のみでは足りないため、カンパが不可欠です。ご理解ご協力をお願いします。
- ④ Web参加の方は、チケットの購入は必要ありません。

(6) 12日全体会オープニングの合唱

- ① 埼玉のうたごえ協議会が中心になって、オープニングの合唱を組織しています。埼玉でおよそ200名、東京からも50名程度が参加することになると思います。
埼玉への問い合わせは、TEL.FAX048-883-1634
peacesaiuta@gmail.com
- 東京では、年金者合唱団、シニア合唱団が中心になって準備しています。
演奏曲は、いのちの歌（混声3部）・いつでも夢を・折り鶴
- ② 本番11月12日は、9:00集合、9:15リハーサル、10:45頃合唱
- ③ 合同練習会、10月29日13:30さいたま市プラザノース2F多目的ルーム
- ④ 大会参加者は、大会の参加費以外に費用は掛かりません。
- ⑦ 合唱に申し込んだだけでは、大会参加を申し込んだことになりません。
東京からの参加の場合は、チケットを買う必要があります。
- ⑧ 合唱だけの参加もあります。その場合は、合唱参加費500円です。

(7) 会場内では持ち込みの食事はできません

- ① 弁当などを持ち込んで会場で食べることはできません。飲料水などは、ふたの閉まる容器であれば会場内に持ち込めます。
 - ② ゴミは基本的にすべて持ち帰りです。

(8) 体調不良の場合などは

- ① 熱など体調がよくない場合は、無理をして参加しないでください。
 - ② 各自の判断で、必要に応じてマスクをつけて下さい。
 - ③ 開会中に体調が悪くなった場合は、11日は、4階受付と小ホールロビー、12日は、大ホールロビー本部受付に申し出てください。

(9) 会場は大宮駅西口から

会場への道は、案内(p15・16)を見てください。案内には中央改札と書いてありますが、北改札、南改札が西口には近いです。

(10) バス・マイクロバスで来る場合は、

ソニックシティホール西側の道路で乗り降りします。道に整理の要員が出るので指示に従って下さい。バスの駐車場はそれぞれの団体で確保してください

(11) 協賛広告ありがとうございました

協賛広告を都内の各団体に呼びかけたところ、19団体から申し込みがありました。当日配布される冊子に掲載します。東京で集めた協賛金は80%が東京実委に還元されます。



6 大会運営の流れと要員の動き

(1) 運営のための要員参加

東京からも全体の運営、講座・分科会の運営などに多くの要員を出す必要があります。要員はできるだけ大会参加者が一定の時間を割いて当たるという形を取りたいと考えています。個別に要請を行っています。

(2) 当日の流れ

11月10日泊まり込み部隊

13:00～904号室集合 講座分科会などの荷物仕分け

事前に資料などを会場に郵送する場合は、ソニックシティ 904 号室
第 38 回日本高齢者大会あてと明記して 11 月 10 日 13:00~14:00 時
間指定で郵送・実委に送付を事前に申し出る

11月11日

9:00 904号室 実行委員事務局集合 打合せ

打ち合わせ後 各教室、小ホールの解錠

以降各教室で 会場準備、Web 配信準備

出店関係は、小ホールホワイエ(ロビー)に荷物搬入

(車で荷物を搬入する場合は、中央実委と事前に打合せ必要)

10:30 4階401号室 案内、受付、駐車などの要員打合せ

10:30 9階904号室 講座・分科会運営責任者の打合せ

11:00 以降 各講座・分科会ごとに時刻を決めて 責任者・講師・司会・受付・マイク担当等 当日打合せ（昼食取りながら可）
11:00 各教室に弁当ケータリング会社が配布、回収も行う
12:30 受付開始 講座・分科会各教室で受付
東京参加者は、4階と小ホールの「東京」受付でチケットを出し、しおりと参加証だけ受け取って、各講座分科会へ
16:30 講座・分科会終了
17:00 までに会議室・小ホールは撤収を終了する
12日まで置いておくものは、第1練習室へ移動
各講座分科会の責任者は 第1練習室に報告に集まる
17:30～うたごえひろば設営要員は準備に行く
18:00～うたごえひろば～20:00
18:00～明日のために、大ホール舞台・ホワイエ準備

11月12日

8:50 大ホール玄関前 （1F屋外）実委・要員集合
9:10 本部、受付、出店の配置、荷物置き場設置、出店準備開始
9:10 案内要員配置
9:30 開場
10:30 開会
12:00 カンパ要員ホワイエに集合
13:00 閉会
13:30 事務局集合
14:00 荷物の搬出

（3）全体受付、案内などの要員

11日は、10:30 ソニックスシティビル4階401に集合、打合せ
12日は、8:50 大ホール玄関前に集合、打合せ

（4）講座・分科会 司会、記録、受付、マイク、Web等要員

11日 9:00 過ぎに教室が解錠するので教室に入れます。
11:00 以降に、各講座・分科会ごとに決めた時刻に教室に集まって最終打合せを行います。
受付・司会・記録などの仕事（P8～参照）

7 交流

8 実行委員会日程

第5回会議 12／23（火）14:00～16:30
第6回会議 2／24（火）14:00～16:00

第38回日本高齢者大会inさいたま会場案内

■ 11月11日講座・分科会の日



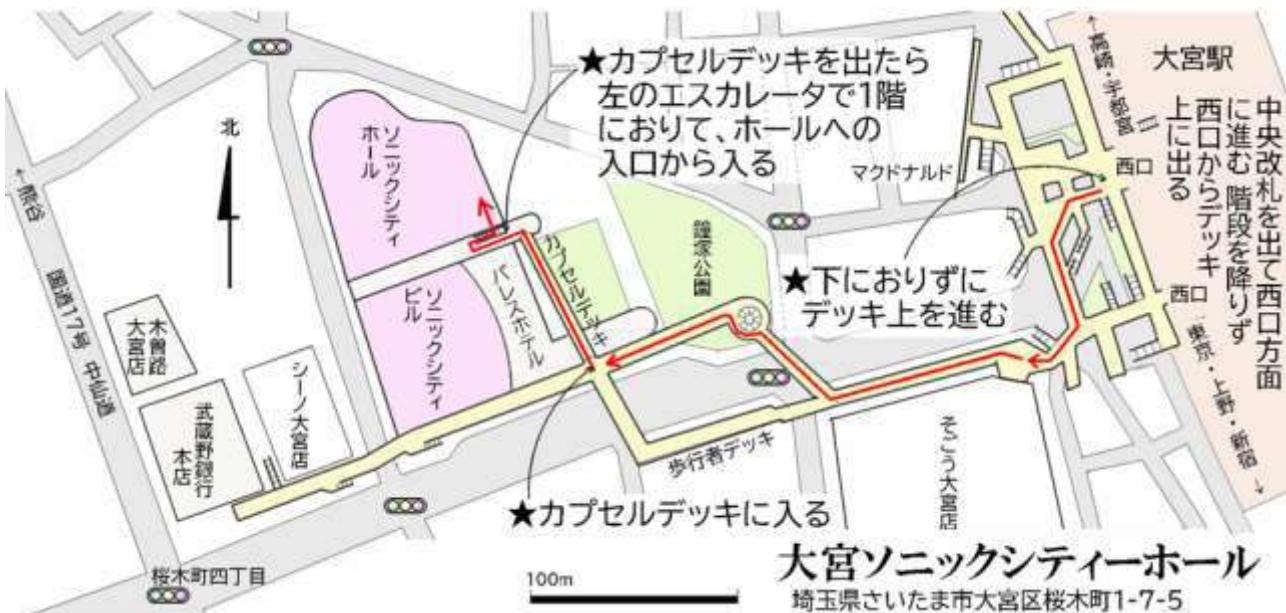
- (1) 中央改札を出たら、西口方面へ進み、階段を降りないで、西口から2階の歩行者用デッキ（ペデストリアンデッキ）に出ます
- (2) デッキに出たら左方向へ進むと「そごう大宮店」が見えます
- (3) 「そごう大宮店」の横をそのまま直進すると、右手に「鐘塚公園」→「パレスホテル」→「ソニックシティホール」の順に並んでいるのが見えます。
- (4) 講座・分科会に参加する方は、
 - (4.1) ソニックシティビル入り口まで進みます。入り口を入ると2階です。
 - (4.2) エスカレータまたはエレベーターで4階に上がると受付があります。
 - (4.3) 東京から参加の方は、[東京受付]によって下さい。
- (5) 「特別企画」暉峻淑子さんの講演+映画ごはんに参加する方は、
 - (5.1) 透明の屋根のある「カプセルデッキ」に入ります。
 - (5.2) 「カプセルデッキ」を出たところから左に進むと、エスカレータがあります。これで、1階に降ります。
 - (5.3) 1階に降りると、左手にソニックシティホールへの入り口(南口)があります。
 - (5.4) 入って、案内に従ってエレベーターまたは階段で、2階に上がると小ホールに入れます。
 - (5.5) 東京から参加の方は、小ホールの[東京受付]によってください。

(カプセルデッキ入口)→



第38回日本高齢者大会 in さいたま会場案内

■ 11月12日全体会の日



- ① 中央改札を出たら、西口方面へ進み、階段を降りないで、西口から2階の歩行者用デッキ（ペデストリアンデッキ）に outsます
- ② デッキに出たら左方向へ進むと「そごう大宮店」が見えます
- ③ 「そごう大宮店」の横をそのまま直進すると、右手に「鐘塚公園」→「パレスホテル」→「ソニックシティホール」の順に並んでいるのが見えます。
- ④ 屋根のある「カプセルデッキ」に入ります。
- ⑤ 「カプセルデッキ」を出たところから左に進むと、エスカレータがあります。これで、1階に降ります。
- ⑥ 1階に降りると、左手にソニックシティホールへの入り口(南口)があります。
- ⑦ 入ってまっすぐ進むと大ホールに入れます。
- ⑧ 東京から参加の方は、[東京受付]によってください。



(カプセルデッキ)

第38回日本高齢者大会 in さいたま 運営マニュアル(案)

20251026

*マニュアル内の名称について

本部=大会本部 1日目 小ホールホワイエ 2日目 大ホールホワイエ

中央受付=1日目 市民ホール前・小ホールホワイエ の2か所

2日目大ホールホワイエ

各教室受付=学習講座・分科会・移動分科会・夜の交流会ごとの受付

当日資料A=大会当日に参加者全員に配布する共通資料

①当日資料冊子 ②実行委員会ニュースNO1 ③感想文(1日目／2日目)

当日資料B(ある場合)=各講座・分科会の独自資料

講座・分科会運営責任者

1)会場設営・管理について

①館内禁煙 ②ゴミは持ち帰ること ③共用ホールの利用は他の利用者もいること(6Fと9Fのラウンジ) ④飲み物は蓋のしまる容器で ⑤会場の机を移動しても現状復帰しなくてよい(案内掲示は教室内に入れること)

⇒参加者に通知してほしいこと

●

●

2)講座・分科会の開会に当たり、今大会の開会意義についてお話しする。

(本来であれば「大会開会あいさつ」、「歓迎あんさつ」で大会開催の意義を確認して開会したいのですが、運営上、「あいさつ」が2日目の全体会になる。そのため、学習講座・分科会の開会時に、大会の意義を説明し、全体で確認したい。

<内容>

第38回大会は中央団体と首都圏4県連実行委員会で開催している。今年は、大会スローガン まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう サブスローガン 分断・対立から共感・連帯へ 築こう平和と人の尊厳 を掲げている。戦後80年、激動の情勢にふさわしい、飛躍をつくる大会にしていきましょう。日本高齢者人権宣言を力に、大軍拡、大企業優遇ではなく、社会保障を充実で、すべての年齢の人が安心し希望のもてる社会をつくる、共同を広げる大会にしましょう。

3)昼食

会場内への飲食物の持込は禁止です。ケータリング会社より11時に各会場に注文数が配達される。ゴミの回収も業者が行う。

4)参加者数集計と感想文、残った資料は第1練習室に搬送すること。

*講座・分科会・小ホールの利用は17時で終了。

*ソニックホール地下1階の第1練習室を13時～翌12日12時まで利用可能。
11日の17時から一旦、本部をこの第1練習室に移動する。

5)講師・助言者が著書販売を希望する場合

希望の場合、各会場で取り扱う。売上金・残った本は講師・助言者に直接渡す。なお、講師との関係で謝礼、交通費は後日指定の口座に振り込むので、当日の金銭のやり取りはしない。

6)大会報告集申込書

大会報告集を希望する方には大会本部・中央受付に誘導する。

*大会報告集は1部1000円 大会本部・中央受付で申込を受け領収する。

*日本高連ホームページから申込書をダウンロードできる。

7)オンライン配信会場の講座

オンライン参加者へ①参加者名を表示すること②画面をオンにしておくこと③ミュートを設定することを周知する。

また、資料は日本高連ホームページよりダウンロードできることを案内する。(参加者には事前に通知してあること)

受付

(1)受付方法

①参加ワッペン(1日目赤ワッペン・2日目青ワッペン)を確認する。

・1日目は当日資料Aを渡す。各教室で独自資料がある場合は配布する。

・2日目は実行委員会ニュースNO2を渡す。

②参加ワッペンのない人は「大会参加申込書」(当日申込用)に氏名・連絡先・所属団体を記入して提出してもらう。「参加のしおり」と当日資料を渡す。

⇒「大会参加申込書」(当日申込用)終了後、大会本部に届ける。

*各会場で参加費は徴収しない。後日、所属団体に参加費を納めるよう伝える。

*団体に所属していない人の場合⇒大会本部・中央受付に誘導する(4F市民ホール、小ホール、大ホール)。

*第5分科会は個人参加者の参加費は徴収する。

③移動分科会 各移動分科会は参加登録者の名簿で確認する。

第1移動分科会の交通費1000円は出発前に集金して中央事務局に届けてもらう

④夜の交流会 参加ワッペンで確認する。

(2)受付担当は「参加者数集約」を終了後に大会本部に提出する。

司会

(1)学習講座は前半と後半で参加の入れ替えは可能、そのため時間をまもること。

*前半 13時10分～14時40分 後半 15時～16時30分

(2)全体のなかで質疑の時間を取りこと。

分科会の司会運営

○分科会は、大勢の参加者が発言できるように、運営する。

助言者の協力も得て、討議を今後の活かすための「分科会まとめ」を確認する。

○分科会は、1時00分～1時30分途中休憩時間20分程度を取る。

記録担当者

「第38回日本高齢者大会報告集」に掲載するための報告書の作成

※当日の内容を詳細に記録する必要はない

※報告書(フォーマットを後日配布する)

① 学習講座・分科会テーマ、講師・助言者名、司会・記録・受付各要員の氏名、

② 参加人数

③ 講座・分科会の概要

申し合わせ事項がある場合はその内容・特に分科会は今後のとりくみや課題について 確認した点を記載する

④字数は 2000 字以内をめどにして

⑤報告書はワードなどデータで提出する

※報告書の提出

12月10日(木)までに、下記宛てにおくる

送り先 〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5-504 日本高齢者大会中央実行委員会宛 TEL.Fax03-3384-6654 メール なるべくメールで送ってほしい

E-mail:nihonkouren@nifty.com(日本高齢者運動連絡会)

4. 移動分科会・夜の交流会の記録

(1)担当を決めて、概要のまとめと写真を 12月10日(木)までに、上記中央実行委員会宛てにおくる。

2025年10月26日

日本高齢期運動連絡会
全日本年金者組合東京都本部

高齢者の命と暮らしを守る 2026年度予算の実現を! 12・4 東京年金者一揆・厚生労働省包囲&座り込み 参加の呼びかけ（案）

高市政権が掲げる「社会保障改革」は、実際には社会保障の破壊にほかなりません。

2025年度、物価が平均でも2.7%上がる中で、年金はマクロ経済スライド等により約1.9%引き上げにとどまり実質0.8%目減りになりました。しかも、名目の額がわずかに上がったことによって非課税だった住民税が課税され、連動して介護保険料などが跳ね上がり、生活に使える額が大幅に減るという深刻な事態も多発しています。

高市政権は医療費4兆円削減の方針をもち、高額療養費の患者負担増、OTC(市販薬)類似薬の保険外し、薬剤自己負担増、後期高齢者窓口負担増、保険料の引き上げなどを狙い、75歳以上の医療費窓口3割負担の対象拡大が議論され、病床は大幅削減が進んでいます。物価高騰と医師看護師不足の中で、医療機関の経営は深刻な困難に直面しています。

介護保険の利用料2割負担の対象拡大、ケアプランの利用者負担有料化、要介護1,2の生活援助の保険外しなど、介護制度大改悪が狙われています。訪問介護の報酬引き下げにより多くの事業所が経営難に追い込まれました。低賃金等による介護労働者不足も重なり倒産、閉鎖が多発、介護が必要な一人暮らしの高齢者の命綱が危機にさらされています。

最高裁判所が、生活保護基準の大幅な引き下げを違法として引き下げを無効とする判決を下したにもかかわらず、国は、いまだに謝罪と改定前の基準への復元、差額の支給等を行ってません。それどころか、生活保護医療扶助の見直しきえ狙っています。

マイナンバー保険証には、個人の健康情報のビッグデータを社会保障費抑制のために活用する、大企業の商業的利用に供するという狙いがあります。さらに国民管理の強化に使われる危険が指摘されています。医療機関に多大な負担をかけ、高齢者に不便を強いながらマイナンバーカード保険証の強要が続いている。

これらの政策は、憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かすものであり、私たちは断じて容認することはできません。

私たちは、社会保障の破壊に反対し、命と暮らしを守る予算の実現を求めて、座り込み、厚生労働省包囲、厚生労働省要請の行動を行います。ぜひご参加ください。

主催 日本高齢期運動連絡会・全日本年金者組合東京都本部

協力 東京地方労働組合評議会・東京社会保障推進協議会

行動計画案

日時：12月4日（木）

- (1) 10:00～12:00 座り込み行動 + 厚生労働省要請：要請書手交
10:00～西幸門前交差点座り込み
厚生労働省要請行動（時刻調整）

(2) 12:30~13:25 厚生労働省包囲行動

(3) 13:30~15:00 日比谷公園西幸門前交差点 大規模座り込み、リレートーク

集合場所 日比谷公園西幸門前交差点 人事院角

包囲行動 厚生労働省前



TEL・FAX 03-3384-6654

東京都中野区中央 5-48-5 シャンボール中野-504

担当 菅谷正見(tokyo.koureiki@gmail.com)

TEL 03-5956-8781 FAX 03-5956-8782

高齢者の命と暮らしを守る 2026 年度予算の実現を!!

東京年金者一揆と高齢者年末座り込み行動との共同による

12・4

**東京年金者一揆・厚生
労働省包囲&座り込み**



12月4日(木)

10:00～15:00

厚生労働省前

**日比谷公園西幸門前交差点
人事院角集合** (地下鉄霞が関駅下車)

主催 日本高齢期運動連絡会
全日本年金者組合東京都本部

協力 東京地方労働組合評議会
東京社会保障推進協議会

高齢者の生活が脅かされています。
私たちは声を上げます。

- ▶「年金の実質引き下げ反対!」「マクロ経済スライド中止!」「最低保証年金実現!」
- ▶「医療費自己負担増ストップ!」「病床削減でなく医療制度の充実を!」「高額療養費負担上限あげるな!」
- ▶「介護の利用者負担増やすな!」「ケアプランの利用者負担許すな!」「要介護1・2の保険外し反対!」
- ▶「国は生活保護費削減を違法とした最高裁判決に従え!」
- ▶「マイナ保険証を押し付けるな!」

私たちは高齢者のいのちと暮らしを守る
2026 年度予算の実現を要求します。

問い合わせ先 日本高齢期運動連絡会

nihonkouren@nifty.com

TEL・FAX 03-3384-6654

担当 菅谷正見(tokyo.koureiki@gmail.com)

TEL 03-5956-8781 FAX 03-5956-8782



行動計画案

- 西幸門前交差点人事院角集合
(10:00)
- 座り込み
(10:00～12:00)
- 厚生労働省要請:要請書手交
(時刻調整)
- 厚生労働省包囲行動
(12:30～13:25)
- 座り込み、集会・リレートーク
(13:30～15:00)